

# ハピスカ通信

3月号

HAPISUKA TOYOSAKA SPORTS & CULTURE INFORMATION

## ハピスカとよかさチャリティイベント みんなでつくる楽しい発表会



豊栄総合体育館の大体育室を会場にダンス・楽器・演武の発表会を行います。たくさんのご来場お待ちしております！

**27.3.14 開催**

### ハピスカとよさか年度会員 更新のお知らせ

今年度もハピスカとよさかの教室・イベントにご参加・ご協力いただきまことにありがとうございました。3月中は年度会員様の会員更新のお手続き期間となります。来年度も楽しい事業もたくさんで皆様のご参加を職員一同お待ちしております。

#### 更新方法

ご自宅へ郵送させていただいた更新申込書、更新費用をご用意いただき3月中の教室参加時に豊栄総合体育館の窓口でお手続きをお願いいたします。

**3** vol.73  
月号 2015

発行  
編集

豊栄総合体育館 豊栄総合体育会  
**ハピスカとよさか**  
Happy Sports & Culture Club



#### 各種お問い合わせ

##### ハピスカとよさか

新潟市北区嘉山488-3 豊栄総合体育館内  
TEL・FAX: 025-386-7522  
WEB: <http://www.hapisuka.com/>  
EMAIL: [toyosaka@hapisuka.com](mailto:toyosaka@hapisuka.com)

##### 豊栄総合体育館

新潟市北区嘉山488-3  
TEL: 025-386-7511 FAX: 025-386-8787  
WEB: <http://www.hapisuka.com/>  
EMAIL: [toyosaka@hapisuka.com](mailto:toyosaka@hapisuka.com)

##### 遊水館

新潟市北区前新田乙311  
TEL: 025-384-1211 FAX: 025-386-1001  
WEB: <http://www16.ocn.ne.jp/~hapiswim/>  
EMAIL: [yusuiKAN@hapisuka.com](mailto:yusuiKAN@hapisuka.com)

ハッピー通信はユニバーサルデザインフォントを使用して作成しています。

# スポーツ施設使用料改定 よくある質問



## 適用時期について

Q：いつから新しい使用料に変わるのですか？

A：平成27年4月1日に利用する分から、新しい使用料が適用されます。

Q：利用日が4月でも、3月中に申込みすると現在の使用料ですか？

A：申し込みが平成27年3月31日まででも、利用日が平成27年4月1日以降の場合は、新しい使用料が適用されます。

## 定期券・回数券について

Q：新しい定期券・回数券は、他の施設も利用できるのですか？

A：プールや体育館などの種類が同じであれば、定期券・回数券を発行した施設以外でも利用できます。  
例えば、鳥屋野総合体育館で発行したプールの定期券・回数券があれば、遊水館、下山スポーツセンター、西海岸公園、亀田総合体育館、白根総合公園、西総合スポーツセンターの全てのプールを利用することができます。

Q：現行の回数券は、4月から使えなくなるのですか？

A：平成27年3月31日までに発行された現行の回数券は、平成28年3月31日まで引き続き使用することができます。

Q：新しい定期券や回数券は、いつから購入できますか？

A：定期券や回数券の記載内容等を検討していますので、準備ができ次第、改めてお知らせします。

Q：4月からの新しい回数券を購入する場合、現行の回数券は払い戻しできますか？

A：回数券を払い戻すことはできませんので、平成28年3月31日までにご使用ください。



## 65歳以上の個人利用について

Q：65歳以上の使用料の対象は、65歳の誕生日からですか？

A：65歳の誕生日以降の個人利用が対象です。定期券の場合は、利用開始日が65歳の誕生日以降の場合に対象となります。

Q：65歳以上の使用料の適用を受けるには、何か証明が必要ですか？

A：利用時に提示していただくカードの発行を検討しています。準備ができ次第、改めてお知らせします。

# 健幸News Letter — vol. 36

## テーマ：生活不活発病

生活不活発病は、まさにその文字が示すように、「"生活"が"不活発"」になることで全身の機能が低下する病気です。「動かないと体がなまる、弱る」というのはいわば常識ですが、高齢者や障害のある人では特にそれが起こりやすいのです。生活不活発病は、たくさんの症状（心身機能低下）が、同時に少しずつ起こってきます。その発端は小さいように見えても、放置しておけばどんどん進行していきます。図のような「悪循環」に陥ってしまうと大変です。

運動や体操を上手に取り入れることも大切ですが、とにかく1日の生活（全体）を活発にすることが予防・改善につながります。



